

平成 2 8 年 度 当 初 予 算
主 な 事 業 説 明

十和田地域広域事務組合

目 次

	ページ
＜消防特別会計＞	
1. 水槽付消防ポンプ自動車更新	1
2. 災害対応車更新	2
3. 小型救助艇用ボートトレーラー更新	3
4. 救急救命士養成研修	4
＜清掃特別会計＞	
1. ごみ処理基本計画策定業務委託	5
2. ごみ焼却施設定期補修整備	6
3. 粗大ごみ処理施設定期補修整備	7
4. 焼却灰セメント原料化業務	8
5. 飛灰セメント原料化業務	9
＜火葬特別会計＞	
1. 火葬場指定管理者管理運営業務	10

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 消 防 ー 1 〕

（単位：千円）

事業名	水槽付消防ポンプ自動車更新				会計区分	消防特別会計	担当部署	十和田湖消防署
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左の財源内訳			特定財源の名称等		新規又は継続	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	国： 県： 地方債：消防施設整備事業債 その他：消防施設整備基金繰入金		
0	78,209	0	70,500	7,709			新規	

1 事業の趣旨・目的

購入から23年が経過し、老朽化の著しい十和田湖消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新します。

【正面】

【側面】

2 事業の概要・事業費等

【事業費 78,209千円】

- ①ポンプ自動車 77,845千円
- ②中間検査時旅費 162千円
- ③諸費用 202千円（保険料・手数料・重量税）



3 その他の説明事項

最新の消防資機材を積載した車両に更新します。

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 消 防 ー 2 〕

（単位：千円）

事業名	災害対応車更新			会計区分	消防特別会計	担当部署	消防本部 警防課
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左の財源内訳			特定財源の名称等		新規又は継続
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	国： 県： 地方債：防災対策事業債 その他：	
0	4,582		3,300		1,282		新 規

1 事業の趣旨・目的

購入から20年が経過し、老朽化の著しい警防課の災害対応車を更新します。

【正面】



【側面】



2 事業の概要・事業費等

- 【事業費 4,582千円】
- ①災害対応車 4,450 千円
 - ②諸費用 132 千円 （保険料・手数料・重量税）

3 その他の説明事項

更新車両は、山岳遭難、各種災害時の情報収集、資器材運搬及び交代要員の搬送等各種災害に使用します。また、各種研修会や訓練など多目的に使用します。

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 消 防 ー 3 〕

（単位：千円）

事業名	小型救助艇用ボートトレーラー更新				会計区分	消防特別会計	担当部署	湖畔出張所
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左の財源内訳			特定財源の名称等		新規又は継続	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	国： 県： 地方債： その他：		
0	969				969		新規	

1 事業の趣旨・目的

購入から19年が経過し、老朽化が著しく台座の変形している湖畔出張所のボートトレーラーを更新します。
車両ナンバーを取得し、水難救助等に迅速に対応します。

2 事業の概要・事業費等

【事業費 969千円】

- | | | |
|-----------|-------|---------------|
| ①ボートトレーラー | 798千円 | |
| ②諸費用 | 171千円 | （保険料・手数料・重量税） |

【後面】



【側面】



3 その他の説明事項

小型救助艇が休屋から濁水、強風等で出航不可能な場合でもナンバー取得により宇樽部からの出航が可能になり、十和田消防署救助隊及び潜水班が到着前に水難救助等災害の対応が可能になります。

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 消 防 ー 4 〕

（単位：千円）

事業名	救急救命士養成研修	会計区分	消防特別会計	担当部署	消防本部庶務課	
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左の財源内訳			特定財源の名称等	新規又は継続
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,605	2,450				2,450	継 続
					国 : 県 : 地方債 : その他 :	

1 事業の趣旨・目的

傷病者の救命率向上を図るため、高度な救命処置の知識・技術を修得した救急救命士を1名養成します。

2 事業の概要・事業費等

救急救命士養成研修 【事業費 2,450千円】

- ① 研修旅費 661 千円
- ② 研修資料代等 41 千円
- ③ 国家試験受験料等 78 千円
- ④ 研修負担金 1,670 千円

3 その他の説明事項

救急救命東京研修所に派遣し、約6ヶ月間の研修を受講後、国家試験を受験し救急救命士の資格取得を目指します。

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 清 掃 — 1 〕

（単位：千円）

事業名	ごみ処理基本計画策定業務委託				会計区分	清 掃 特別会計	担当部署	事務局 業務課	
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左 の 財 源 内 訳				特定財源の名称等			新規又は継続
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	国 :			新規
0	8,793				8,793	県 :			
						地方債:			
						その他:			

① 事業の趣旨・目的

廃棄物処理法第6条第1項の規定により、平成29年度から平成38年度までの10年間を計画期間とする次期計画を策定するものであり、今後の循環型社会の実現に向けた収集・運搬、中間処理及び最終処分における適正処理を進めるための基本方針・施策を明確にします。

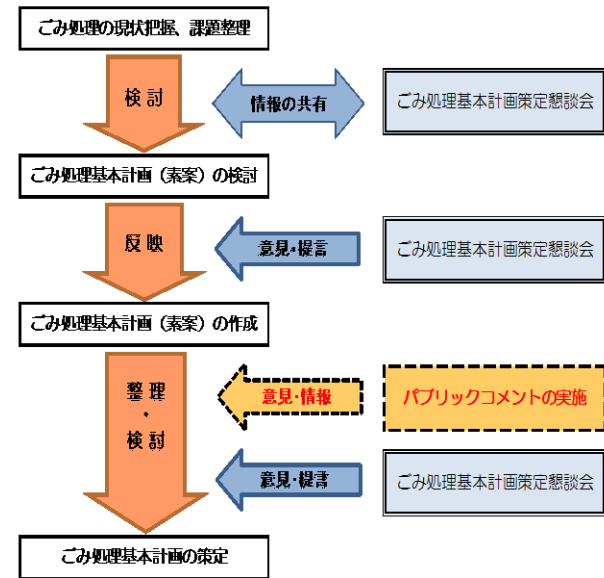
【計画策定のフロー図】

② 事業の概要・事業費等【事業費 8,793千円】

- (1) ごみ処理基本計画の策定
- (2) ごみ処理基本計画策定懇談会の運営支援
- (3) パブリックコメントの実施支援
- (4) ごみ処理基本計画冊子及び概要版の作成

③ その他の説明事項

計画の策定に当たっては、「ごみ処理基本計画策定指針（環境省、平成25年6月）」を参考に、これまでの施策に関する評価を行い、国、青森県の動向、リサイクル技術動向、構成市町村の状況、住民の要望等を踏まえ調査・分析し、現実的かつ具体的な減量化、資源化方策を検討するなど計画策定に係る業務を委託するものです。



主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 清 掃 一 2 〕

（単位：千円）

事業名	ごみ焼却施設定期補修整備	会計区分	清 掃 特別会計	担当部署	事務局 業務課													
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左 の 財 源 内 訳			特定財源の名称等	新規又は継続												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	継 続												
132,205	123,026				123,026													
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>① 事業の趣旨・目的</p> <p>ごみ焼却施設の適正な管理運営を維持するため、継続的な補修整備を実施します。</p> <p>② 事業の概要・事業費等【事業費 123,026千円】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(1) 受入供給設備（ごみクレーン補修整備）</td> <td style="text-align: right;">4,773 千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 炉本体設備（耐火物等補修）</td> <td style="text-align: right;">19,317</td> </tr> <tr> <td>(3) 燃焼設備（火格子部品交換点検調整等）</td> <td style="text-align: right;">7,501</td> </tr> <tr> <td>(4) 排ガス処理設備（ガス冷却室、集じん装置等補修）</td> <td style="text-align: right;">52,964</td> </tr> <tr> <td>(5) 灰出設備（焼却灰・飛灰コンベア補修）</td> <td style="text-align: right;">19,966</td> </tr> <tr> <td>(6) 電気計装設備（コンベアモーター類制御装置、公害測定装置等）</td> <td style="text-align: right;">18,505</td> </tr> </table> <p>③ その他の説明事項</p> <p>廃棄物処理法による施設の技術上の基準及び施設の排出基準を遵守し、適正な維持管理を行うことができます。</p> </div> <div style="width: 35%; border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> <p>国 : 県 : 地方債 : その他 :</p> </div> </div>							(1) 受入供給設備（ごみクレーン補修整備）	4,773 千円	(2) 炉本体設備（耐火物等補修）	19,317	(3) 燃焼設備（火格子部品交換点検調整等）	7,501	(4) 排ガス処理設備（ガス冷却室、集じん装置等補修）	52,964	(5) 灰出設備（焼却灰・飛灰コンベア補修）	19,966	(6) 電気計装設備（コンベアモーター類制御装置、公害測定装置等）	18,505
(1) 受入供給設備（ごみクレーン補修整備）	4,773 千円																	
(2) 炉本体設備（耐火物等補修）	19,317																	
(3) 燃焼設備（火格子部品交換点検調整等）	7,501																	
(4) 排ガス処理設備（ガス冷却室、集じん装置等補修）	52,964																	
(5) 灰出設備（焼却灰・飛灰コンベア補修）	19,966																	
(6) 電気計装設備（コンベアモーター類制御装置、公害測定装置等）	18,505																	

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 清 掃 ー 3 〕

（単位：千円）

事業名	粗大ごみ処理施設定期補修整備	会計区分	清 掃 特別会計	担当部署	事務局 業務課	
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左 の 財 源 内 訳			特定財源の名称等	新規又は継続
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,190	17,064				17,064	継 続
					国 : 県 : 地方債: その他:	

① 事業の趣旨・目的

粗大ごみ処理施設の適正な管理運営を維持するため、継続的な補修整備を実施します。

② 事業の概要・事業費等【事業費 17,064千円】

(1) 受入供給設備（ごみクレーン、供給フィーダー補修整備）	2,953 千円
(2) 破碎設備（回転式破碎机等交換点検調整）	1,899
(3) 搬送設備（破碎搬送コンベアベルト等交換点検調整）	2,364
(4) 再生設備（金属圧縮機交換点検調整）	3,427
(5) 集じん設備（バグフィルター等交換点検調整）	1,680
(6) 雑設備（ホイス、コンプレッサー等交換点検調整）	1,103
(7) 電気計装設備（直流電源装置、可燃ガス検知器等）	3,638

③ その他の説明事項

廃棄物処理法による施設の技術上の基準及び施設の排出基準を遵守し、適正な維持管理を行うことができます。

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 清 掃 一 4 〕

（単位：千円）

事業名	焼却灰セメント原料化業務	会計区分	清掃 特別会計	担当部署	事務局 業務課	
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左 の 財 源 内 訳			特定財源の名称等	新規又は継続
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	国 : 県 : 地方債 : その他 : 清掃手数料、生産物売払収入等
84,467	84,467			38,985	45,482	

① 事業の趣旨・目的

最終処分場の延命化を図るため、ごみ焼却施設から発生する焼却灰の資源化処理を委託し、八戸のセメント会社でセメント原料としてリサイクルを行います。

② 事業の概要・事業費等【事業費 84,467千円】

- (1) 数量 約3,300トン
 (2) 1トン当たりの処理単価 . . . 25,596円

《 処理実績 》

年度	処 理 量 (ト)	事 業 費 (千円)
22年度	567	14,097
23年度	3,201	79,656
24年度	3,199	79,592
25年度	3,297	82,045
26年度	3,300	84,448

③ その他の説明事項

焼却灰の再生利用を推進し、最終処分場の延命化やリサイクル率の向上、循環型社会の形成が図られます。

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 清 掃 ― 5 〕

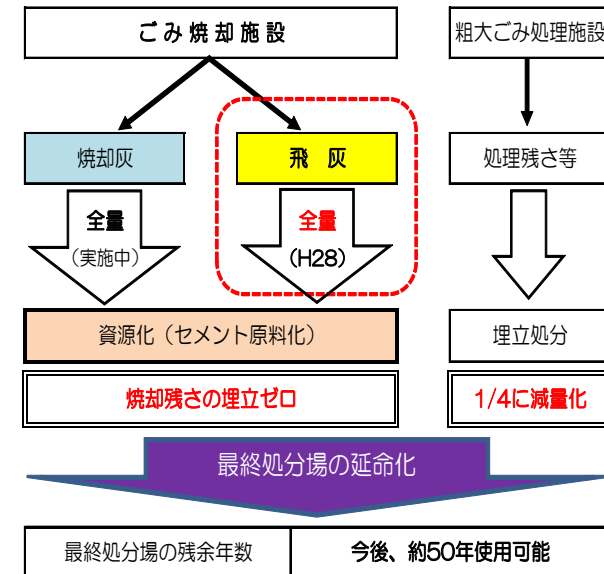
（単位：千円）

事業名	飛灰セメント原料化業務				会計区分	清掃 特別会計	担当部署	事務局 業務課
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左の財源内訳				特定財源の名称等		新規又は継続
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	国	県	継続
22,680	54,433			25,071	29,362	国	県	
						地方債		
						その他：清掃手数料、生産物売払収入等		

① 事業の趣旨・目的

最終処分場の延命化を図るため、ごみ焼却施設から発生する飛灰（※注）の脱塩処理・資源化処理を委託し、八戸のセメント会社でセメント原料としてリサイクルを行うものです。

【最終処分場の延命化フロー図】



② 事業の概要・事業費等【事業費 54,433千円】

- (1) 数量 約1,200トン（飛灰発生量の全量）
- (2) 1トン当たりの処理単価 45,360円

③ その他の説明事項

- (1) 飛灰は塩素濃度が高く、脱塩処理後にセメント原料化となります。
- (2) 焼却残さ（焼却灰及び飛灰）の全量を資源化した場合、年間埋立量が1/4の500ト程度に減量化され、今後、最終処分場が約50年使用可能となります。（最終処分場の残余年数は、平成26年度末の残余年数からの試算による。）
- (3) 本事業により、リサイクル率は3%程度の向上が見込まれます。

（※注）飛灰とは、焼却施設排ガス出口の集じん装置で捕集したススや灰など排ガス中に含まれている「ばいじん」をいう。

主な事業の説明資料（平成28年度）

〔 火 葬 ー 1 〕

（単位：千円）

事業名	火葬場指定管理者管理運営業務	会計区分	火葬特別会計	担当部署	事務局 業務課	
平成27年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	左の財源内訳			特定財源の名称等	新規又は継続
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
31,943	31,693			3,832	27,861	継 続
<div style="font-size: small;"> 国 : 県 : 地方債 : その他 : 火葬場使用料、公衆電話使用料 </div>						
<p>① 事業の趣旨・目的</p> <p>火葬場の管理運営を、指定管理者に行わせるものである。</p> <p>② 事業の概要・事業費等</p> <p>【事業費 31,693,000円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に関する業務 ・施設、設備等の維持管理に関する業務 ・計画及び報告書の提出に関する業務 <p>③ その他の説明事項</p> <p>事務の軽減と、直営時比較で経費の節減となる。</p>						